

《株式会社エフエム東京 第410回放送番組審議会》

1. 開催年月日:平成 26 年 7 月 1 日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数6名(社外6名 社内 0 名)

◇出席委員(5名)

横 森 美 奈 子 委員長	内 館 牧 子 委員
渡 辺 貞 夫 委員	香 山 リカ 委員
秋 元 康 委員	

◇欠席委員(1名)

西 田 善 太 委員

◇社側出席者(10名)

富木田 代表取締役会長  
千 代 代表取締役社長  
唐 島 専務取締役  
石 井 常務取締役  
平 常務取締役  
山 科 常勤監査役  
村 上 執行役員 編成制作局長  
延 江 編成制作局 ゼネラルプロデューサー  
宮 野 編成制作局 編成制作部長  
平 岡 編成制作局 番組プロデューサー(オブザーバー)

◇社側欠席者(1名)

藤 取締役 マルチメディア放送事業本部長

【事務担当 村上放送番組審議会事務局長】

4. 議題: 番組試聴 (約 27 分)

シンクロのシティ

6 月 9 日(月) 15:00～16:50 放送

＜議事内容＞

議題 1:最近の活動について

■「桑田佳祐のやさしい夜遊び」放送1000回

1995年4月に放送をスタートした「桑田佳祐のやさしい夜遊び」（毎週土曜日 23:00～23:55 全国38局ネット）。ほぼ毎週生放送で桑田氏ならではの軽妙洒落なトークで全国のリスナーとコミュニケーションし、時にはサザンオールスターズの名曲の弾き語りなどのプレミアムな企画も放送するなど、彼の音楽活動においてのホームグラウンドとして多くのファンから愛されております。この番組が、来る2014年7月5日（土）に放送1000回を迎えることになりました。これを記念して、翌週の7月11日（金）・12日（土）の2日間にわたり、ファンとリスナーを招待したイベント「SMBC presents 桑田佳祐のやさしい夜遊び～夏にサザンないの!? いい加減に1000回!! ファンやめたるわ!! 生歌ライブ」をTOKYO FMホールで実施します。このライブの様子は7月12日（土）に、22時より、放送枠を2時間に拡大して、特別番組として放送いたします。

■2014年7月スタート 新番組について

1) 土曜 10:00～10:50

「TOYOTA Athlete Beat」（38局フルネット）

パーソナリティ:藤木直人(俳優)

伊藤友里(フリーアナウンサー)



2020年の東京オリンピック開催を見据え、プロ・アマ問わずスポーツを愛する人たちを応援し、彼らと共鳴する新番組です。

番組では、活躍中のアスリートのインタビューはもちろん、全国のリスナーのスポーツ体験と気分を盛り上げる音楽のリクエスト、さらにスポーツ界に偉大な記録を残し、人々に感動を与えているアスリートたちの知られざるストーリーをモノログで紹介する「Legend Story」など、FMならではの音像表現でスポーツの素晴らしさをお届けします。

2) 日曜 7:00～7:30

「コスモ石油 presents 野口健×藤巻亮太の ROCK! THE EARTH」

パーソナリティ:野口健(アルピニスト)

藤巻亮太(レミオロメン Vo.)



「アースコンシャス～地球を愛し、感じるこころ」の象徴イベントとして、毎年夏に全国のリスナーとともに富士山の清掃登山とエコトレッキングを実施している野口健氏による新番組。今回はアルピニストとミュージシャンという異なるジャンルに身を置きながら、社会に対する強い問題意識のもとに共鳴し合い、親交を深め、登山仲間でもある藤巻亮太氏と二人で進行します。番組では、毎回様々な現代の地球を取り巻くテーマについて「今、世界で問題となっていること、身近でできる問題解決のヒント」などを語り合います。

### ■今夏の主なイベントについて

TOKYO FM では、2014 年夏も多くのイベントを実施します。その中から主なイベントをご紹介します。

#### ●出資・自主イベント

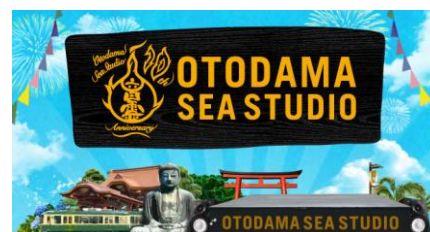
#### ◆ SPIEGELWORLD presents EMPIRE supported by Mercedes-Benz (出資)

7月18日(金)～9月15日(月) 品川プリンスホテル Club EX  
ラスベガスのシーザーパレスのステージを演出する、SPIEGELWORLD による超接近型サーカス・エンターテインメント。直径わずか3mのステージで、目の前のお客様を巻き込みながら展開する、大人のためのサーカスです。



#### ◆ OTODAMA SEA STUDIO (出資)

7月1日(火)～8月31日(日) 鎌倉由比ガ浜海岸  
今年で10周年を迎える、ミュージシャン「キマグレン」が経営するライブハウス型海の家に、昨年引き続き出資参加いたします。7月21日(月・祝)、8月25日(火)の2日間は当社自主イベントを実施します。



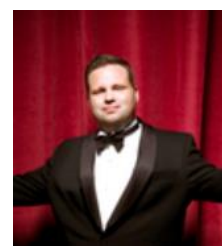
#### ◆ 閃光ライオット 2014 (自主)

8月31日(日) 新木場 スタジオコースト  
今年で7回目を迎える SCHOOL OF LOCK が主催する10代限定の夏フェス。10,000組以上の応募から勝ち残ったファイナリスト達が熱い戦いを繰り広げます。



#### ◆ ポールポッツ「ONE CHANCE」JAPAN TOUR 2014(出資)

9月30日(火) オーチャードホール  
イギリスのオーディション番組をきっかけに、携帯電話のセールスマンから



スターに転身したポールポッツ。今年、彼の半生を映画にした「ONE CHANCE」が公開され、その公開を記念した来日ツアーです。

● 主な主催・後援名義

- ・7/25(金)～7/27(日) FUJI ROCK FESTIVAL'13 苗場スキー場 (SMASH)
- ・7/1,2,16,17,18 松任谷由実 国際フォーラムA (キョードー東京)
- ・7/30(水) May J. ZEPP TOKYO(キョードー東京)
- ・7/3(木)～6(日) 浜崎あゆみ 代々木第一体育館(キョードー東京)
- ・8/1(金)、2(土) 山下達郎 NHKホール(SOGO)
- ・8/16(土)17(日) 長渕剛 横浜アリーナ (ホットスタッフ)
- ・8/13(水) 14(木) LADY GAGA QVC マリンフィールド(クリエイティヴマン)
- ・8/15(金)～17(土) SUMMER SONIC2014 幕張メッセ(クリエイティヴマン)
- ・8/14(木)～20(水) a-nation 代々木第一体育館ほか(キョードー東京)

など内外話題の大型コンサートを主催、後援いたします。

**議題2: 番組試聴 (約27分)**

【番組名】「シンクロのシティ」  
パーソナリティ: 堀内貴之

【放送日時】 2014年6月9日(月) 15:00～16:50 放送

**【番組概要】**

本日試聴いただくのは、毎週月～木曜日、15:00～16:50にお送りしているワイド番組「シンクロのシティ」の中の企画です。

この番組は、「東京の声とシンクロする」をコンセプトに、日々東京の街角で、番組スタッフである「ボイス収集隊」がその日の番組テーマに基づいた街頭インタビューを行い、東京に暮らす人々の価値観を探っています。

この週は、FIFA ワールドカップ2014 ブラジル大会の日本代表の初戦を週末に控えており、「対戦国をマークせよ!『シンクロ・ザ・ワールド!』～ニッポンにココなら勝てるヨ!ここは負けるヨ!」という企画を実施しました。

グループリーグの対戦国(コートジボワール、ギリシャ、コロンビア)出身で、現在東京に暮らす方々を探し、彼らが、そのお国柄で母国が日本に勝ると自負する部分はどこなのか?逆に、負けを認める部分はどこなのか?というインタビューを行いました。

尚、2012年の東京都総務局調べで判明した各国都内在住者数は、コロンビア人 514人、ギリシャ人 70人、コートジボワールにいたっては、わずか37人という人数でした。

本日は、このコートジボワール出身の方々へのインタビューの様様をダイジェストで試聴いただきます。

**【委員の意見および社側説明】**

(「○」委員意見/「■」社側説明)

○楽しく聴いた。異文化理解ということを切り口とした演出で面白かった。  
コートジボワールを語る上で、本来は欠かせないはずの国の歴史の問題を触れなくていいのかと最初は思ったが、逆に、今のコートジボワールを徹底的に知っていくという意味では、今を元気に生きて、日本で頑張っているコートジボワール人たちを通して、若い人たちが経済発展もおしゃれも楽しんでいる最近の様子は伝わってきた。ただ、国を語るといってもごくごく少数の、かつ日本に来ているという特殊な人たちの話なので、この国の国民性ってこんな感じなんだねと結論づけるのはミスリーディングになると懸念する。

○退屈で面白くない。友好的に話を進めていたが、もう少しシビアな話に突っ込めな

いのかと思った。昨日アメリカから帰ってきたが、現地ではラジオを聴くようにしている。音楽だけ鳴っていてもいい空間ができる。おしゃべりの後ろに音楽がかかってもよく聴こえない。もっと落ち着いた時間を作ってくれたらいいと思う。

○「東京とシンクロするという」ことで一つ番組ができるのだから、東京というのがいかに特殊な街かがわかる。早くコートジボワール人の話を聞きたいのに、ありきたりな前説が長すぎたので、構成を工夫した方が良く。また、いかに日本という国が軽くなっているかを同時に感じた。日本に住むコートジボワール人の話す日本語が日本人と同様に乱れていることに考えさせられた。聴きごたえはなかった。

○何かをしながら聴いたら気にならなかったかもしれないが、改めて聴くと全く内容のない番組だという印象。一番気になったのは、BGMをやたらと引っ張ったり、効果音を入れすぎる音演出で、結局中身が何もない。

たまたまそこに流れていたら聴くけど、それに合わせてわざわざ聴こうとは思わないという点で、こういう番組がラジオを滅ぼすと思う。

さらに、わざわざ日本に来ているコートジボワール人にインタビューできたのに、「コートジボワールから、なぜ、何しに日本に来たのか？」という質問がない上、例えば、コートジボワールで今一番大変なのは嫁姑問題だといった現地のリアルを探りもせず、この番組を聴いて誰かに伝えたくなるような情報が何もなかった。

時間を音楽とサッカーの雰囲気だけで埋めてるだけで終わってしまったので、5年後、10年後にはますます聴かれなくなる。番組の企画意図としても、東京に住んでいる人の声をただ集めるのは、別に聞きたくない。普通の人を出すなら、10人ではなく、100人のコメントを集めて厳選してピックアップするぐらいでないと面白くない。

みんなガチさを求めているから、やるならもっと濃く、徹底的にやらなくてはいけない。

○日常生活の中で聴いている分には、気にならない番組だと思う。日本戦が終わったこのタイミングで、今日この番組の何を聴かせて審議したいと思ったのか、番組試聴の意図がわからなかった。いい意味で聞き流せて、生活のリズムの中にある分には、あってもいい番組だとは思う。

■1回限りの特別番組を試聴いただくことが続いたので、今回は日常の中の帯番組を審議いただく機会にしたかったというのと、ワールドカップという国民的関心事を取り上げるときに、こういったアプローチをしたということをご紹介したかった。

4年前にこの「シンクロのシティ」をスタートしたときに、東京の市井のいろいろな価値観を持った人の声を集めて、その考え方や多様性、エッジ、すきまなどを見つけて番組にしようと意図した。

○どこに視点や切り口があるのか、その声で、どのように時代が切り取れるのか、が感じられないから、この企画にスポンサーをつけるのは大変だ。ラジオは嘘つきだ、企画意図とやっていることが違うじゃないかとなってしまうし、わざわざ買う意味がない。SOLは企画意図通り反映しているから評価も高いし、良い番組なのだと思う。

○生番組を審議するときは、その時期や聴くシチュエーションによって聴こえ方が違うこともあるので、試聴の仕方、プレゼンの仕方自体も考えた方が良い。

#### 5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

#### 6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送:番組「SPO☆LOVE」  
7月26日(土)5:00～7:00放送
- ② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

#### 7. その他

次回の放送番組審議会を、9月2日(火)に開催することを決めた。

以上